

英語科学習指導案（略案）

呉市立広南中学校  
指導者 森澤 葉子

- 1 日 時 令和2年2月28日（金曜日） 第2校時
- 2 学年・学級 第8学年A組（男子10名 女子7名 計17名）
- 3 単元名（本時）『NEW CROWN2 Lesson 7 Presentation』
- 4 本時のねらい

修学旅行で訪れた京都について自分たちが体験したことを元に、外国人とスカイプでコミュニケーションを取りながら紹介することができる。

・教科の評価の観点……………【話すこと（やり取り）】 ・資質・能力【思考・表現】

5 学習の流れ

	学習内容	生徒の活動（形態を含む） 指導上の留意点（・）	評価基準 【資質・能力】
導入 (5分)  課題意識を持つ	○課題の確認 ICT 一斉  質問「今日の京都の紹介ではどんなことに気を付けて進めますか？」	あいさつ  声の大きさ・アイコンタクトや表情・間を意識する。一方的に体験したことを伝えるのではなく、問いを投げかけながらコミュニケーションをとる。	
めあて：外国人と2往復以上のやり取りをして、コミュニケーションを取りながら京都の紹介をしよう。			
展開 (35分)  学びを深める	○課題を意識し、班で紹介内容を確認させる。 ・班活動 ICT 一斉  発問「シャーロットに自分たちが修学旅行で体験したことを知ってもらえるように、2往復以上の会話をつながけながら紹介していきましょう。」  ○それぞれの紹介について他者評価する。	○1班は発表準備をする。  ○スカイプ（Zoom）を使って紹介する。 ICT 一斉 話型  つなげる言葉・・・How about you? 深める言葉・・・Do you know ~?, Have you ever ~?  ○発表する班だけではなく、クラス全体でコミュニケーションを取る。	【協力・協働】  教科の評価の観点 【話すこと（やり取り）】 (生徒観察) 【思考・表現】
終末 (10分)  学習過程を振り返る	○プロジェクト全体の振り返りをする。  まとめ：外国人と2往復以上やり取りをして、コミュニケーションを取りながら京都を紹介することができた。  ○レポートについての課題を提示する。(レポート：京都の紹介のまとめ)		(復習課題)

【コミュニケーションにおける見方・考え方】 コミュニケーションを行う状況等に応じて、伝えたい情

報を整理しながら考える。